

年金受給に必要な期間が短縮されました

平成29年8月から、年金を受け取るために必要な期間(資格期間)が25年から10年に短縮されました。日本年金機構では、これまでに対象となる人に黄色の封筒(A4サイズ)で年金請求書を郵送しています。まだ請求手続きを行っていない人は、ねんきんダイヤルで予約の上、年金事務所での手続きを行ってください。

■資格期間とは

- ・国民年金の保険料を納めた期間や免除された期間
- ・サラリーマンの期間(船員保険を含む厚生年金保険や共済組合などの加入期間)

- ・年金制度に加入していなくても資格期間に加えることができる期間(カラ期間と呼ばれる合算対象期間)
- これらの期間を合計したものが「資格期間」です。資格期間が10年(120月)以上あると年金を受け取ることができます。年金の額は納付した期間に応じて決まります。10年間の納付では受け取れる年金額は、満額の約4分の1になります。

問い合わせ先

- ▶ねんきんダイヤル ☎0570(05)1165
- ▶050から始まる電話でかける場合 ☎03(6700)1165

今から保険料を納めて年金額を増やすことも

■任意加入制度

60歳以上の人も国民年金に加入できます。希望する人は、「60歳から65歳まで」の5年間、国民年金保険料を納めることで、65歳から受け取る老齢基礎年金の額を増やすことができます。資格期間が10年に満たない人は、最長70歳まで国民年金に任意加入することで、資格期間が増え、年金を受け取れるようになります。

■任意加入制度を利用できる人(次のすべてに該当する人)

- ①国内に住所のある60歳以上65歳未満の人(年金の受給資格期間を満たしていない場合は70歳未満の人まで)
※国外に居住する日本国籍の人も加入できます。
- ②老齢基礎年金の繰上げ支給を受けていない人
- ③20歳以上60歳未満までの保険料の納付月数が480月(40年)未満の人
- ④現在、厚生年金保険に加入していない人

■後納制度

過去5年以内に国民年金保険料の納め忘れがある人は、申し込みにより、平成30年9月まで国民年金保険料を納めることができます。

■後納制度を利用できる人(次のいずれかに該当する人)

- ①5年以内に納め忘れの期間がある人(任意加入中の保険料も該当します)
 - ②5年以内に未加入期間がある人(任意加入の対象となる期間は該当しません)
- ※60歳以上で、老齢基礎年金を受け取っている人は申し込みできません。

問い合わせ先

- ▶ねんきん加入者ダイヤル ☎0570(003)004
- ▶050から始まる電話でかける場合 ☎03(6630)2525

年金相談の

「予約受付専用電話」が開設されました

日本年金機構では、全国の年金事務所でも年金相談の予約を実施しています。年金事務所の窓口で年金請求の手続きや、受給している年金についての相談を希望する人は、ぜひ予約相談をご利用ください。予約相談の受け付けは、「予約受付専用電話」で行っています。

■予約相談のメリット

- ・相談者の都合に合わせて、スムーズに相談できます。
- ・相談内容に合ったスタッフが事前に準備の上、丁寧に応じます。

■予約相談の実施時間帯

- (月) 午前8時30分～午後6時
- (火)～(金) 午前8時30分～午後4時
- 第2(土) 午前9時30分～午後3時

申し込み・問い合わせ先

- ▶予約受付専用電話 ☎0570(05)4890(ナビダイヤル)
- ▶050から始まる電話でかける場合 ☎03(6631)7521

受付時間

- (月)～(金) 午前8時30分～午後5時15分
- ※(土)(日)(祝)、12月29日～1月3日はご利用できません。



↑富田甚平



位置図



シリーズ日本遺産⑫

「菊池川流域「今昔『水稻』物語」」

米作り、二千年にわたる大地の記憶

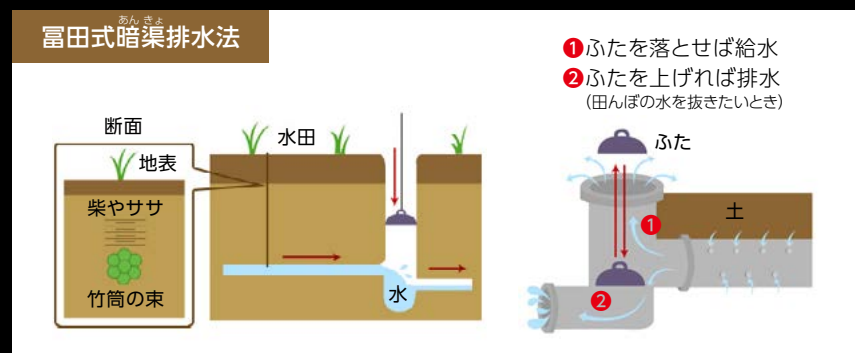
沼地に田を拓く

米作りの耕作地を沼地まで拡大することができたのは、土地改良技術の進歩が大きな要因です。その土地改良技術の研究を行い、実践的な成果をあげることによって貢献したのが富田甚平です。

富田式暗渠排水法

富田甚平は最初に「留井戸」による地下水位の調節を可能にしました。その後、この方法に改良を加え、「水閘土管」を開発しました。この方法は留井戸よりも小型になり、あぜに設置することができます。工事費も安価にできます。この「水閘土管」は排水調節の内蓋を上から針金で上げ下げし、簡単に確実な操作ができるようになりました。この方法は排水だけでなく、貯

水もできる機能を合わせ持つ点が大きな特徴です。画期的な技術であり、湿地での耕作を可能にしました。



富田甚平について

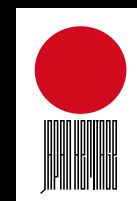
富田甚平は嘉永元年(1848)年、菊池郡岩村大字台字水島(現・菊池市七城町)に生まれました。その後、明治8(1875)年から明治10(1877)年まで菊池郡の地租改正担当御用掛を拝命し、地域の土地等級の決定に参画しました。

この調査の過程で、あぜ一つしか離れていないのに土地等級が極端に異なり、収穫量に差があることに気付きます。その原因が主に地下水にあることをつぎとめました。

地下水を調節することができれば、等級の低い水田も乾田並みの等級に高めることができますと考えます。このことが暗渠排水法の研究の出発点になりました。

(担当：菊池市生涯学習課)

問い合わせ先
生涯学習課
社会教育係
☎0968(25)7232



菊池川 日本遺産 検索

イベント情報

- 日本遺産巡回展
「日本遺産 菊池川流域の米作り」と大地に刻まれた「千年の記憶」と水編」
期間 7月24日(火)～9月9日(日) 午前9時～午後5時
※入館は午後4時30分まで
ところ 和水町歴史民俗資料館(肥後民家村内)
休館日 毎週(月)
※(月)が祝日の場合は翌日
料金 無料
■和水町古墳祭
震災からの復興を祈る灯籠の奉納、装飾古墳である塚坊主古墳の一般公開も行います。
とき ▼8月4日(土) 前夜祭(子ども夜店市、ビアガーデン)
▼8月5日(日) 炎の宴(神事、打ち上げ花火など)
ところ 江田船山古墳公園一帯
■赤星神楽 風止め奉納
構成文化財の神楽の一つです。
とき 8月19日(日) 午前11時～
ところ 赤星菅原神社(菊池市)